

意見対応一覧表（第3回専門部会）

資料1-3

新計画 案該当 施策	施策名	意見箇所	委員からの意見(編集)	対応・質問に対する回答(案)
1-1	子育て支援の充実	現状・課題 取組方針	虐待問題の早期発見・対応が重要であり、重点的に取り組んでいかななくてはならない。	虐待はもちろんのこと、様々な困難を抱えている子どもも含めて、早期発見、対応の重要性を現状課題、取組方針に記載しました。
1-1	子育て支援の充実	現状・課題 取組方針	地域社会の協力や自発的な関わりを上手く組み込んでいくことを考えることが大切である。また、連携なのか、協働なのか、言葉についても考えてみてはどうか。その上で、野洲市としての考え方を表現していく必要がある。	市としての主体性と、それぞれの機関の積極的な関与と、両方示す観点から、連携の表現は残した上で、協働して取り組むことを現状課題、取組方針に記載しました。
1-5	人権の尊重と多文化共生社会の実現	施策目標 現状・課題	「支え合う」はお互いに自分事になっているという感じがある。生涯学習もそうであるが、学んだことの成果がどこかに生かされ、地域に貢献し、循環していくということであると、「支え合う」という言葉があってもいい。	施策目標と現状課題に「支えあう」という表現を追記しました。

1-5	人権の尊重と多文化共生社会の実現	現状・課題 取組方針	「インターネットによる人権侵害等」とあるが、「SNS」と表現した方が良いかどうか。市民への分かりやすさを考えると包括的に使っている「インターネット」でもいいが、「インターネット上における」等、他の表現も考えられるかもしれない。	インターネットだけに限定するイメージを持たれないよう「インターネット等」という表現を残した上で、ご指摘を踏まえ「インターネット等を通じた人権侵害」という表現にさせていただきました。
1-5	人権の尊重と多文化共生社会の実現	指標	相談件数を指標として取り上げる場合は、相談に行きやすくなって増えるのがいいのか、問題が解決され少なくなるのがいいのか、設定について検討する必要がある。事務局からは指標は意向調査の結果をなるべく使わずに設定をしたいと説明があったが、人権教育の分野ではそういう指標を置かざるを得ないかもしれない。	指標について再検討し、取組方針に合わせて追加しています。
1-5	人権の尊重と多文化共生社会の実現	指標	審議会委員の女性比率という指標の必要性は分かるが、人権の尊重や多文化共生社会も含めた指標となると弱いかもしれない。現在の総合計画の指標である意識調査の指標も選択肢としつつ、次回までに事務局にも研究をお願いしたい。	